

米子芳音「ザ・スーパートリオ」 曲目解説

(今夜の例会の曲目はピアノソロの1曲を除きピアノの斎藤雅弘さんが編曲されたものです。)

【第1部】

●ズィーツィンスキー：ウィーン我が夢の街

ウィーン生まれのアマチュア作曲家ルドルフ・ズィーツィンスキー（1879年－1952）が1912年に作詞作曲したウィーンを賛美するノスタルジックな歌曲です。リフレーンの部分の歌詞の大意は

ウィーンだ、ウィーンだけだ そこは わが夢の街
懐かしい昔のままの家々が立ち並び 愛らしい少女たちが挨拶を交わすところ
ウィーンだ、ウィーンだけだよ ここだけが わが夢の街
わたしが わたしらしく、幸せに満たされるどころ
それこそがウィーンだ、 ウィーン、わたしのウィーン・・・

というようにウィーン好き、ここに極まれます。

●スカラッティ：すみれ

イタリアバロックの作曲家アレッサンドロ・スカラッティ（1660-1725）が作曲したオペラの中の Aria ですが、イタリア歌曲の代表的なものとして単独に広く歌われています。歌詞の内容は、少年がすみれの花に思いこがれる少女の面影を重ね、恋を打ち明けるといったものです。

●モーツァルト・歌劇「フィガロの結婚」より”恋とはどんなものかしら”

W.A.モーツァルト（1756-1791）のオペラ「フィガロの結婚」の中で小姓のケルビーノが伯爵夫人に対して歌う有名な恋の歌です。オペラの中の原曲でも伴奏のクラリネットが活躍しますが、今夜の編曲ではどうなっているのでしょうか。

●ピアソラ：リベルタンゴ（クラリネットとピアノ）

アルゼンチンの作曲家アストール・ピアソラ（1921-1992）が1974年に書いた代表的なタンゴです。2000年にはチェロのヨーヨーマの演奏で世界的に大ヒットしました。2002年7月の小松亮太&ザ・タンギスツの米子での2回目の公演でも演奏されています。

●ファリャ：火祭りの踊り（ピアノソロ）

スペインの作曲家マヌエル・デ・ファリャ（1876-1946）の代表的なバレエ音楽「恋の魔術師」の中の最も有名な曲を作曲家自身がピアノに編曲しています。火を焚いて踊る悪魔払いの場面で演奏されます。

●アイルランド民謡：ダニーボーイ（足立さんの弾き歌い）

アイルランド民謡として採譜され1855年出版の歌集に収められた旋律が”ロンドンデリーの歌”として知られるようになり、様々な歌詞が付けられました。ダニーボーイは1913年に英国人が付けた歌詞。内容は女性が男性に別れを告げるものです。

●ラテンメドレー：アマポーラ、シェリト・リンド、グラナダ

いずれもおなじみの3曲のメドレーです。

アマポーラ：1924年、スペイン。アマポーラとはひなげしのこと。

シェリト・リンド：1882年、メキシコ。シェリト・リンドは直訳では美しい空。

グラナダ：1932年、メキシコ。グラナダはスペイン南部の都市。アルハンブラ宮殿で有名。

【第2部】

●マリア・カラスに捧げるオペラ「カルメン」メドレー：

往年の名ソプラノ、マリア・カラス(1923-1977)が得意としたジョルジュ・ビゼー(1838-1875)のオペラ「カルメン」の中の3曲のメドレーです。

ジプシーの歌：ヒロインのカルメンが仲間と一緒に踊り歌う曲。終盤のテンポアップでいやまず興奮。

ハバネラ“恋は野の鳥”：カルメンが闘牛士のドンホセを惑わすアリアです。

セギディーリャ：セギディーリャはスペイン南部アンダルシア地方の民族舞曲の名前です。

この曲でもカルメンがドンホセを誘惑しています。

●ジュディ・ガーランドに捧げるメドレー

アメリカの女優・歌手であったジュディ・ガーランド(1922-1969)が出演した映画・ミュージカルの中の3曲のメドレーです。

虹のかなたに：1939年のミュージカル「オズの魔法使い」の中でジュディが初めて歌いました。

For Me And My Gal：1942年のミュージカル。ヴォードビル芸人の愛国心を描いた作品。

トロリー・ソング：1944年の映画「若草の頃」の中の1場面。トロリーバスの上で歌っています。

クラリネットの名人芸にも注目です。

●ガーシュイン：オペラ「ポーギーとベス」メドレー

アメリカの作曲家ジョージ・ガーシュイン(1898-1937)の1935年のオペラ「ポーギーとベス」の中の3曲のメドレーです。

サマータイム：最も有名な曲です。ブルース調の子守唄。

そんなことはどうでもいいさ：ジャズっぽいクラリネットもいいものです。

ポーギー、私はあなたのもの：ポーギーが歌う元の曲「ベス、あなたは私のもの」を、ベスの側から見た歌詞に変更したもの

●ディズニー・メドレー 有名な4曲のメドレーです。

ビビディ・バビディ・ブー：1950年の映画「シンデレラ」中の魔法の登場シーンでの曲。

ラ・ラ・ルー：1955年の映画「わんわん物語」で歌われる子守唄です。

いつか王子様が：1937年の映画「白雪姫」の中の曲。クラリネットに集中できる最後のチャンス。

いつか夢で：1959年の映画「眠れる森の美女」の中の曲。チャイコフスキーの同名バレエ曲が下敷きになっています。